

クロスエイトMC静注用

クロスエイトMC輸注セット 使用方法説明書

- ・本説明書では例として1000国際単位規格を用いた使用方法を掲載しています。
- ・全ての規格における、輸注セットの基本的な使用方法は同じです。

溶解前の準備

机の上を清潔にして、注射に必要なものが揃っているか確認してください。

製剤ビンと注射用水ビン



製剤ビンと注射用水ビンを冷所に保存していた場合は、使用する前に室温に戻しておいてください。

「クロスエイトMC輸注セット」に入っているもの



その他のもの



溶解手順

1 プラスチックキャップを外します。

製剤ビンと注射用水ビンのプラスチックキャップを外します。



2 ゴム栓を消毒します。

製剤ビンと注射用水ビンのゴム栓をアルコール綿(スワバー)で消毒します。



3 よう かい い ちゅうしん 溶解移注針のケースを開封します。

溶解移注針のケースから、ピール紙を完全に剥がします。溶解移注針はケースに入れたままにしてください。



4 溶解移注針を注射用水ビンに刺します。

溶解移注針をケースに入れたま
ま、針先を注射用水ピンのゴム
栓中央部分にあて、**奥まで**刺し
ます。つぎに溶解移注針のケー
スを**まっすぐ上に持ち上げて**取
り外します。



- 注射用水に対して溶解移注針が傾いた状態や、奥まで刺さっていない状態では注射用水が移注しないことがありますのでご注意ください。



まっすぐ刺してください



奥まで刺してください



5 注射用水を製剤ビンに移します。

注射用水ビンを逆さまにして、溶解移注針を製剤ビンのゴム栓部分に軽く当てます。つづいて、注射用水ビンを持った状態で溶解移注針を押し込みます。このとき倒れないように製剤ビンをしっかり持ってください。注射用水が製剤ビンに移ります。



透明のプラスチック部分を握ると、溶解移注針が製剤ビンに刺さりません

6 薬を溶かします。

注射用水が完全に製剤ビンに移ったら、**液を泡立てないよう**注意しながら、ゆっくりと円を描くように製剤ビン回して薬を溶かします。



- 注射用水ビンは抜き取らないでください。
- 薬が全部溶けているか、沈殿物や濁りがないかを確認してください。

注意

この段階では細かい気泡により白濁しているように見える場合がありますが、溶解移注針を切り離し、製剤ビンが常圧になると、この気泡は消失します。

7 溶解移注針を切り離します。

製剤ビンを下にしたまま、溶解移注針の上下を持って注射用水ビン側を反時計回りにねじり、溶解移注針の中央部分から切り離すと差込口が現れます。

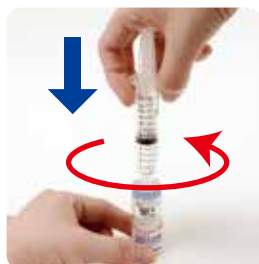


- 注射用水ビン側の溶解移注針を時計回りにねじった場合、溶解移注針の破損につながる場合がありますのでご注意ください。

8 空気を入れた注射筒を溶解移注針に取り付けます。

注射筒内に溶解液と同容量(5mL)の空気を入れます。

製剤ビンの差込口に注射筒をしっかり取り付け、注射筒の中の空気をすべて製剤ビンに入れます。



9 薬を注射筒に入れます。

製剤ビンを上にとすると、薬が注射筒に入ってきます。ゆっくり引いて注射筒に薬をすべて抜き取ります。



- 注射筒に空気が入らないように注意してください。

10 注射筒を溶解移注針から外します。

薬が全部注射筒に入ったら、注射筒を溶解移注針から外してください。

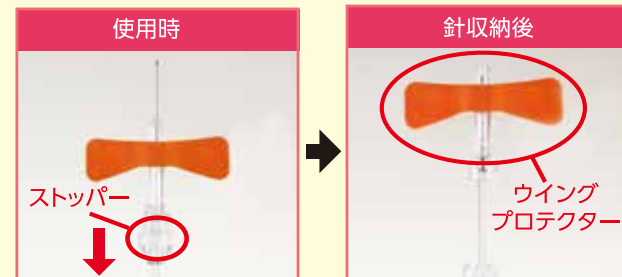


11 翼付静注針よく つき じょう ちゅう しんを注射筒につけます。

清潔を保つために、注射筒の先端に触れないように注意しながら、翼付静注針をつけます。



翼付静注針の誤刺防止機構について



使用後はストッパーの両側をつまんでロックを外し、「カチッ」と音がするまで後方に引いてください。注射針がウイングプロテクター内に収納、固定されます。

使用済みの針等の廃棄方法

使い終わった翼付静注針は専用の廃棄箱またはビン・缶などに入れてください。製剤ビン、注射用水ビンやアルコール綿などは付属のポリエチレン袋に入れてください。

詳しい廃棄方法は、薬の処方を受けた医療機関に相談してください。

